

令和元年12月定例会

# 教育委員会定例会会議録

書記 中村 顕介  
書記 星井 絵名

## 塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日時 令和元年12月20日(金) 午後1時30分～午後2時30分

◆場所 壺番館庁舎 共用会議室

### ◆出席委員

教 育 長	高 橋	睦 麿
委 員	池 野	暢 子
委 員	松 田	攝 子

### ◆欠席委員

教育長職務代理者	柴田	仁市郎
委 員	佐 浦	弘 一

### ◆事務局

教 育 部 長	阿 部	光 浩	教育総務課長	佐 藤	聡 志
学校 教育 課長	遠 山	勝 治	生涯学習課長補佐	阿 部	繭 子
市民交流センター館長	井 上	靖 浩			
教育総務課総務係長	中 村	顕 介	教育総務課主査	星 井	絵 名

### ◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
  - ① 本市の教育活動の状況について
- 5 教育部長報告
  - ① 市議会定例会等について
- 6 その他報告

- ① 塩竈市公民館本町分室及び塩竈市杉村惇美術館指定管理者候補者審査結果について
- ② 「第 66 回文化財防火デー」に伴う塩竈神社消防訓練について
- ③ 塩竈市杉村惇美術館の「令和元年度地域創造大賞（総務大臣賞）」受賞決定について

## 7 閉会

1 開会 午後 1 時 30 分

2 前回会議録委員の署名

池野委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

池野委員と松田委員を指名

4 教育長報告

次第を進行する前に高橋教育長より平成 31 年 3 月 8 日に開催された 2 月定例会の議事録に誤解を与える表現があったことに対して、お詫びと訂正がなされた。

以下、説明内容を書き起こし。

平成 31 年 3 月 8 日に開催された、塩竈市教育委員会 2 月定例会の質疑の中で、議事録を読まれた方に誤解を与える表現がありましたので、この場を借りてお詫びをし、訂正させていただきます。

市議会 2 月定例会の一般質問で、「支援を要する児童生徒について、学校現場での課題と施策について」の答弁の中にあつた本市の発達障害の在籍率に対し、柴田委員が「本市では、発達障害の在籍率が高いとのことだが、高い傾向にあるのは最近のことなのか」と質問したのに対し、学校教育課長が「今回の値は、5 年間の値を平均したもので、12%という値になった」と答え、その後、柴田委員が「要因として何があるのか」と質問したのに対し、高橋教育長が「これが要因というのは難しいが、家庭環境によるところが大きいのではないかと答え、続いて、学校教育課長が「発達障害の要因をもっている子の中には、家庭環境によって発症しない子もいることから、家庭環境や養育環境が占めるものは大きいと考えている」と答えた内容を訂正するものでございます。

発達障害については、「児童生徒を取り巻く環境により、表に出にくくなることもある」と言われておりますが、本来、生まれつき脳に障がいをもつものであり、家庭環境の良し悪しのみで発症が決まるものではありません。

また、この時お示した本市の発達障害を抱えた児童生徒の在籍率の 12%という数字については、過去 5 年間の小学校就学前の情報交換会で発達障害等、特別な配慮が必要な児童としてあげられている数字であり、その中には、家庭環境や養育環境によって発症すると言われている愛着障害の児童も含まれていることを承知していたため、柴田委員からのご質問を受けた際

に、発達障害と愛着障害の児童の発症要因を混同したお答えになっておりました。

つきましては、2月定例会で柴田委員からいただいた質問に対し、「発達障害の発症があたかも家庭教育と密接に関係がある」というような誤解を与える趣旨の発言をしたことに対し、深くお詫びを申し上げ、この場において訂正させていただきます。

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

① 本市の教育活動の状況について

〔主な質疑〕

松田委員 インフルエンザの話題があったが、本年は水痘の流行もあったと聞いている。本市の状況はいかがか。また、不登校防止のヒアリングは中学校を回っていたが、小学校は回らなかったのか。

高橋教育長 小学校の不登校数は減っている傾向。中学校はやっと全国平均を下回ったものの、まだまだなので、ヒアリングに回った。

佐藤課長 水痘は月見ヶ丘小学校の4学年にて12月3日～5日、学級閉鎖となった。発症者は8名であった。本日現在の学級閉鎖は、月見ヶ丘小学校のインフルエンザによるもののみである。

池野委員 中学校の不登校対策の効果をおしえてほしい。

高橋教育長 平成28年度に小中一貫教育を始めてその年度末に大きく下がったことから、課題は“中一ギャップ”であるとし、小中一貫教育に取り組み、中学校へ上がる際のハードルを下げた。

遠山課長 不登校の出現率は、全国・県ともに上がっている。宮城県は、4年連続で全国のワースト1になっている。その中で、塩竈市は減少傾向を保っている。

## 5 教育部長報告

(1) 阿部教育部長から、以下のことについて報告

① 市議会定例会等について

〔主な質疑〕

特になし

## 6 その他報告

(1) 阿部生涯学習課長補佐から、以下のことについて報告

① 塩竈市公民館本町分室及び塩竈市杉村惇美術館指定管理者候補者審査結果について

- ② 「第 66 回文化財防火デー」に伴う鹽竈神社消防訓練について
- ③ 塩竈市杉村惇美術館の「令和元年度地域創造大賞（総務大臣賞）」受賞決定について

〔主な質疑〕

- 高橋教育長 指定管理者について、契約期間 3 年だったものを 5 年に変更している。
- 池野委員 審査に応募した事業者は 1 社しかなかったのか。
- 高橋教育長 以前にこの事業に興味を持った業者にも募集があることをよびかけたが、手を挙げた業者は 1 社だけであった。
- 阿部補佐 これまでの実績などもあり、現行事業者に有利性があることは否めないが、それ以前に杉村惇氏やその作品に対する理解度の高さ、地域に溶け込んだ事業展開など、こちらが仕様で求めている事業内容がこなせる事業所は多くはないのが現状である。
- 松田委員 文化財防火デーについて、参加者約 110 名の内訳をおしえてほしい。また、塩竈学問所講座という事業があるのを初めて知ったので、内容を詳しく教えてほしい。
- 阿部補佐 資料に記載のある、消防、警察以外にも、神社職員、神社に奉仕している氏子青年会のみなさん、近隣住民の方々などが参加している。塩竈学問所については、去年は肯山公 300 年遠忌という年でもあったため、連続講座を行った。本年は本町分室を起点に文化財をめぐるまちあるきを企画している。東北歴史博物館の協力を得て開催する予定である。
- 高橋教育長 神社の消防訓練では、本市の市議会議員をはじめ、多賀城市議会議員、松島町議員などの参加も見受けられる。
- 池野委員 神社の防火設備についてはどのようなになっているのか。
- 阿部補佐 境内の中にも消火栓などの設備があり、その操作訓練なども行われる。参拝者の避難誘導やご神体を退避させる訓練なども行っている。
- 高橋教育長 首里城の火災の例などもあり、文化財を守る意識の高い皆さんで行われる訓練なので、ぜひ委員の皆様にも足をお運びいただきたい。

《会議録署名委員》

2番委員

(池野委員)

4番委員

(松田委員)